

ビデオナービズネットとは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.com>

📷 4月定例会のご案内

新型コロナウイルスの影響で、2月3月定例会は中止になりましたが、4月の定例会も中止です。

🤝 高橋会長より

新型コロナウイルス騒動の渦中でどのように日々を過ごされていることでしょうか。未知のご苦労もおありかと推察いたします。

感染予防のため、2月、3月、4月の定例会は中止にせざるを得ませんでした。

そういう状況で現在、会員同士の対面活動には制約を受けておりますが、メーリング等を活用すればある程度の活動・交流は可能かと思えます。

質問、情報交換、近況報告等々、会員同士どうぞ積極的にメーリング等を活用下さればと願います。

なお、脇田さんからも、会員同士在宅でも交流できるツールの紹介があるはずで

✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

が続きます！

（文責各筆者）

👍 脇田より

WEB会議システムができれば良いと考え、今はやりのZoomをいじっています。高橋・吉岡・脇田・朝日で試してみました。Zoomの特徴は、複数人接続可能、アカウントが不要（ただしパソコン、スマホ、タブレットいずれもアプリのインストールは必要）、ホストから映像を流して全画面でみたり、レコーディングで記事録作成も可能です。

詳細はまた後日メーリングリストにて！

（以上敬称略・文責 脇田）



4人での接続テスト。パソコン画面を撮影

西湘のビデオ屋稼業

2020.4月 高橋 昌一
(含むことあり：個人的、感覚的話し)

“志村けん、さんの訃報がなかなか頭から離れない。

3月上旬、新型コロナ騒動渦中。時節柄、かなり多くの人々と接触する機会が多くなっていった。その自分が万一、気付かずに保菌者になっているとしたらマズイ！と懸念もした。日常的に手洗い・うがい・マスク着用は当然のごとくその他の対策として、マイ体温計を持ち歩き、せめて、顧客の門をくぐる前に検温を済ませるなどしていた。(きっかけは一部の顧客先で体温を尋ねられたことだった。このようなことは初めての体験)

そんな新型コロナの影響の中、ビズネットの仲間にも依頼し、合わせて6件の卒園式撮影を行った。撮影は、卒園式は短縮バージョンにて実施も謝恩会は一様に全て中止となった。

次々と入ってくる謝恩会中止の報に、園側の、園児の、保護者の、各々の気持ちをおもんばかる。今は、園側も、保護者側も、業者側も…… 立場の違いなくみんなで一体になってここを乗り越えていかなければという気持ちになってくる。

そこですぐに、合間を見つけハンディカムを携えて各園に向かう。その理由は、謝恩会が無くなったので、せめて園児の今の様子を押さえDVDに追加しておこう、という思い入れ。諸事情でそれは3園しか実現出来なかったが、正味 15 分ほどの撮影を 3~4 回は行っただろうか。

さて、“謝恩会中止、と決定しても、保護者側からするとそのままでは気持ちの治まりようもなく、5 分でも 10 分でも謝恩の場を設けて欲しいとの要望がどこの園でも見受けられた。(それではと、ほぼ園側も卒園式終了後、移動せずそのままごく短時間で謝恩を終えましょう、という流れとなっていた。)

ビデオ業者の当方は、保護者との謝恩にかかわる打合せも、変更~調整~変更~調整が頻発していた。それでも「今回は非常事態だから」とこちらも可能なかぎりひざを突き合わせた。そうするうちに内容も 10 分の尺が 15 分になり 20 分になっていく…、結局、知る限りどこの現場も本番当日も含めて混乱交じりの変更が続いていたような印象。

そもそも何をやるにしても「これで決まり！」という決定打はそうそうあるものではない。結局色々な中から「一つ」になるようにみんなで協調しながら取り決めていく。だが、今回のように心身ともにバタついていると、その「一つの協調」に、いくつかモヤモヤと残っていた各々の想いがついつい無意識に重なり、やがて広がり、ばらけていく。ようするに撮影当日では事前打ち合わせと全く違う展開も目立った。いわゆる混乱！ そういうわけで今回は撮影中「えっ、えっー！」と言いながら、「撮影する側としての現場力」もかなり試される事態となっていた。

それでも、そんな保護者によるオーバーラン気味の混乱で大変だった撮影も、終えて数日もしてくると、その保護者の気持ちも妙に理解出来るものだから不思議なもの。

撮影後、まだ手つかずの編集だが、今回は例年とはかなり違った構成や組立てが必要になりそう。でも、それなりに手間はかかるとは思いますがそれはそれで、「どうまとめようか？」と、やや気合も入ってくる。今日、最後の撮影を終えて 10 日目。このまま何事も起きないことを願う。